



—うずしおクラブ徳島役職員一同—

新年ご挨拶

(公財)徳島県老人クラブ連合会会長

三宅 武夫



新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、令和7年の新春を晴れやかな気持ちでお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃から県老連が行う各種事業に格別のご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、本年4月から10月までの6か月間、約半世紀ぶりに大阪で「大阪・関西万博」が開催されます。前回の大阪万博の際、私は25歳と若かったのですが、あの長蛇の列に恐れをなし有名なパビリオンに並ぶことはせず、「月の石」や「ソニー」を見ることはできませんでした。しかし、今回の万博は「並ばない万博」を目指し、会場への入場やパビリオンの観覧の予約ができるようです。今年80歳になる私も地元の方々と一緒に万博見学を楽しめるのではないかとワクワクしています。

老人クラブでは、万博

新年ご挨拶

徳島県知事

後藤田 正純



新年明けましておめでとうございます。

老人クラブ会員の皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお



発行者
徳島県老人クラブ連合会
TEL 088-625-0021
FAX 088-625-0052
E-mail info@awaroren.org
〒770-0943
徳島市中昭和町1丁目2番地
徳島県立総合福祉センター内
1部20円(送料込 90円)



県老連ホームページ
www.awaroren.org

今月の行事

市町村老連役員等研修会・
新年互礼会
15日(徳島市)

新年ご挨拶

徳島県議会議長

元 本章 生



新年明けましておめでとうございます。

老人クラブ会員の皆様がお健やかに新春を迎えられますことを、徳島県議会を代表いたしまして、心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、常日頃より県議会に深いご理解と温かいご支援を賜っており、誠に厚くお礼申し上げます。

さて、今年の干支「乙巳(きのと・み)」は、積み重ねてきた努力の成果が芽吹き、一気に花開く、力強い成長の年と言われております。人生100年時代と言われる中、後とも全力で取り組んで参る所存であり、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、公益財団法人徳島県老人クラブ連合会の今後益々のご発展と、本年が皆様にとりまして幸多き年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。

会とくしまの実現に全力で取り組んで参りますので、皆様には、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様にとりまして、本年が幸多き年となりますことを祈念申し上げます。新年の御挨拶と致します。

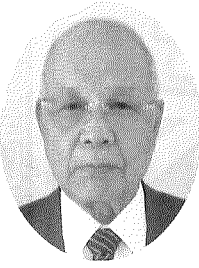


◇古来南天は、難を転ずると言われている。
世界を覆う難が少しでも好転するように祈りをこめて、今年の正月花には南天を活けた。床の間が明るくなった。どうか御利益がありますように！
(六田 靖子)



◇令和7年の幕が上がった。
◇去年は、能登半島地震を皮切りに天災が相次ぎ、政界、財界、法曹界の不祥事、犯罪の多発など人災も後を絶たず、世も末だと思える年であった。
◇又、ウクライナやパレスチナでは戦火が絶えず、核戦争の恐れさえ出て来ている。
◇そんな中での被団協のノーベル平和賞の受賞は、正に闇夜の灯火であった。永年の活動が認められただけでなく、核武装、核戦争への大きな抑止力になるに相違ない。唯一の被爆国として、国際的な発言力も増すであろう。
◇先日、こんな短歌に出会った。
・南天の朱実が雪の雫し
て元旦の陽を鮮しく浴む
(富小路 慎子)

私どもの活動する大麻地区は鳴門市の西端に位置し、大谷焼の窯元や土御門天皇をお祭りする阿波神社、四国八十八ヶ所



鳴門市松西コスモス会 中野 良博

わが地域の歴史と文化

一番、二番札所や阿波一宮の大麻比古神社、ドイツ兵俘虜との交流を記念したドイツ館や地元出身の偉人である賀川豊彦の記念館など、歴史と文化を誇る地域であります。当大麻地区老人連合会



吉野川市川島春秋松寿会 新居 博文

青年団活動から 老人会活動へ

まだまだ若いと思っ



て各種様々な行事に自治振興会や各種他団体とともに参加、協力を行って

「お正月には風揚げで、独楽を回して遊びましよ」と



カルタの思い出

六田 靖子

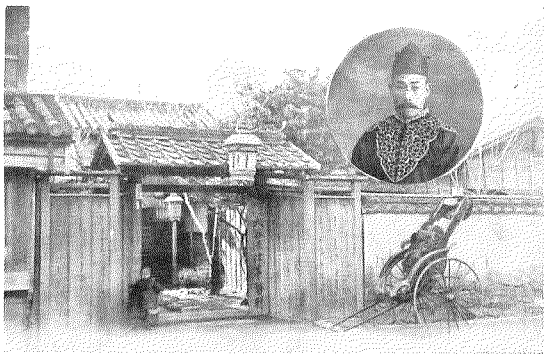
と私が、向こう三軒両隣へと問い合わせに走る。すると、

「京の夢、大阪の夢」まできつちり48枚、読み札と取り札とを合わせて96枚を書き上げた。楽しそうにカルタ取り

絵はがきで見るふるさと 241

明治時代の法律事務所

明治42年撮影
徳島市寺島本町
大谷法律事務所発行



画面は明治42年12月31日徳島局消印の年賀状で、差出人は徳島市寺島本町大谷法律事務所と書かれて

全国老人クラブ大会に参加

11月20日と21日の両日、神奈川県横浜市において第53回全国老人クラブ大会が「のぼろう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマに開催されました。

2日目は、まずアトラクションとして、地元の神奈川県で活躍する平均年齢70歳のジャズバンドの演奏があり、秋にちなんだ曲の演奏と合わせ、神奈川県にゆかりのある歌謡曲（上を向いて歩こう、君といつまでも）を参加者全員で歌いました。



次は式典が行われ、永年老人クラブ活動の発展に尽力された個人・団体に全老連会長から表彰状が授与されました。

本県の受賞者・団体は、次のとおりです。受賞された方々におかれましては誠にありがとうございます。

全老連会長表彰

○育成功労表彰

井原 勝

吉尾さだえ

○女性リーダー育成功労表彰

宇山 久子

○若手リーダー育成功労表彰

川下 玲子

○優良老人クラブ表彰

本利寿クラブ

○優良老人クラブ連合会表彰

美波町老人クラブ連合会（美波町）

1面「わだち」の執筆者について

今月号から、「わだち」を六田靖子先生にご執筆いただくことになりました。

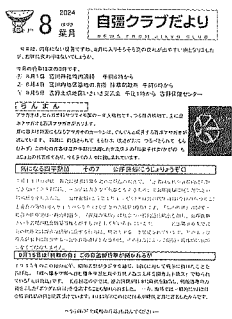
これまでご執筆いただいております安川久子先生には引き続き「説苑」でご執筆いただきます。

わがクラブのイチ押し☆

阿波市自彊老人クラブ クラブだよりを一新

森本 浩幸

徳島自動車道土成ICから北へ約1kmに位置し、古くから開けた純農村的な性格を色濃く残している自彊地区は、ぶどうと洋ランの栽培が盛んな地区で、その農作業の合間等を利用して各種のクラブ活動が展開されています。その一例として、宮川神社境内の清掃、国道318号沿いの美化運動、いきいきサロン、各種行事への参加、クラブの総会では満開の桜の下でお花見を兼ねた時を過ごします。また、昨年の5月からは毎月発行して配布しております「自彊老人クラブだより」



より」の内容を一新し、名前も「自彊クラブだより」へと変更しました。そのクラブだよりの内容を紹介します。最初に時候の挨拶、次にその月の行事についてお知らせします。「らんまん」はその月に咲く花の特徴などについてわかりやすく説明します。「気になる四字熟語」は現在、新

聞・テレビで使われている四字熟語をタイムリー且つ老人にもわかりやすく解説します。その他、心に残る言葉や先人の名言、土成町の昔話を時々載せています。このクラブだよりが「老友新聞」と一緒に配布され同時に読むことができたため情報伝達機能だけでなく行事参加の推進や認知症予防として末永く発行していきたいと思っています。

松茂町七福クラブ 七福クラブの活動

会長 長町 進

七福クラブは、年初めに総会を開き、1年間の活動計画を示しています。活動については、健康教室や交通安全教室、前期・後期に分けて「七福サロン」をしています。また、年度末には反省会など、様々な行事をしています。時には、食事をしながらビンゴゲーム大会等も行います。年1回は、温泉のあるところ、近くの名所を見学したり、景色を楽しんだり、

日帰り研修旅行をします。そして、松茂町長寿会の行事にも、毎回多くの会員が参加しています。会員のみなさんは、老人クラブの行事を楽しみにしています。会員募集は、会員全員がします。ちなみに、今年度は2名の欠員がありました。が、新規加入者が8名で、会員数は34名となりました。七福クラブは、地域が広く、会員は各地区で奉仕活動も実施しています。みんなで集まり、楽しく



活動し、健康で交通事故に注意して、友愛・健康・奉仕を目標に頑張っています。

任用期間も終了したある日、地域の老人会会長であった方が自宅へ訪れ、老人会への加入を勧められ、まだまだ老人会への加入は早いと考えていましたが、やがては加入したいとは考えていましたので加入を了解しました。川島春秋松寿会に加入後は、私の両親ほどの年齢の方もいる中で、事業や活動に参加しています。活動に参加している会員の生き生きしている状況を見るにつけ、地域活動の重要性や必要性を、若かりし頃、青年団活動に情熱を燃やしていたころの気持ちを思い出させてくれたと感じており、人間は老いていきますが、その中でも生き生きと活動を会員の皆様方と共に展開していきたいと考えております。

いろいろやって健康に

美馬市重清西長寿会 加藤 一幸



当長寿会は、美馬市の中で一番西方にある長寿会です。中心部でいろいろある活動に参加するのはなかなか大変です。活動方針は、身近でいかなと感じたものを、取りあえずやってみるという方向でやっています。ただし、今まで手掛けたいものは決して多くはありません。老人会婦人部と自治会婦人部はほぼ同じ人員です。自治会婦人部のサロンお薬師という会と共同で行うことがほとんどです。今回はじめて、演芸会を独自に開催することになりました。近くの県立防災館をかりて、落語、マジック、軽音楽、演歌など、盛りだくさんでやってみることにしました。これも、もとをたたせば、サロンお薬師での落語会が、好評だったからです。身近で聞いた落語は非常に新鮮でした。近所の方々にもこの感

動を味わっていただきたいと、企画いたしました。この演芸会が好評なら続けていきたいと思っています。最後に、会員数も少ないこの会ですが、できることを色々やっていきます。

つれづれなるままに

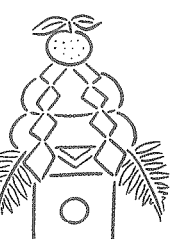
神山町上角老人クラブ 山田 芳弘



まず上角地区の紹介から。神山町の真ん中に位置し、最近リニューアルされた神山温泉、道の駅「温泉の里神山」、全国的に有名な全寮制の神山まると高専等、山村としては外国人や若い人を多く見かける素敵な田舎であります。他の地区でよく聞く空き家はあまりなく、借家にすればすぐ借り手は見つかる状態です。上角老人クラブは会員数27名ですが、会員の減少と高齢化は否めません。当クラブの行事で珍しいのは、毎年夏に行う鰻の蒲焼で、タレから作っており、今年も70匹焼きました。会員が多い時は150匹程も焼いて



いたようです。この行事は先々の会長が旅行中に鰻の業者と知り合い、話が盛り上がったのでこの行事に結び付いたと聞いております。この日は会員のほとんどの家庭で夕食に1人1匹の鰻が出ていると想像するだけで楽しくなります。ただ初めの頃は黒焦げになったのが有り、そういうのは役員さんに回っていたようですが、これは仕方ない事です。最近ではニュースポーツがブームになりつつあり、当クラブでも何か取り入れ、健康の維持、増進に取り組みたいと思っています。



長寿の秘訣 交通安全 ①

新年おめでとうございます。旧年中は、警察行政各般にわたり、深いご理解と温かいご支援をいただいたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。本年も、悲惨な交通事故を少しでもなくするための活動を続けていきますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

- 令和7年中の交通安全運動等実施計画
- 1月 年始の交通安全県民運動
 - 4月 自転車交通安全運動月間(～5月)
 - 7月 春の全国交通安全運動
 - 9月 交通マナーアップ推進県民運動
 - 12月 秋の全国交通安全運動
 - 年末の交通安全県民運動

各運動期間中には、様々なキャンペーンや交通安全教室を実施しますので、ぜひ参加してみてください。

交通ルールを守り、「ゆずる心・待つゆとり」を持って、交通事故のない安全安心な徳島県を一緒に作っていきましょう。

警察相談専用電話 #9110 (プッシュ回線)

徳島県警察本部 交通安全課

読者文芸

1月号

短歌投稿数
俳句投稿数
川柳投稿数

618344
句句首

3月号
メ切日
1月31日
(必着)

短歌と川柳は自由題、
俳句は当季雑詠とします。



中村和子の身近な法律エッセイ

「あなたなほいつくも？」



95 口約束で貸したお金は大丈夫？

久しぶりに会った知人は、懇意にしている友人に頼まれて借書も何も取らずにお金を貸したそうです。しかし、近ごろその友人のよくない噂を耳にするようになり、「貸したお金は間違いなく返してもらえらるうか」と心配しています。

ふつう私たちはお金を借りたら返さなければなりません。だが相手が何かの事情で「借りた覚えがない」などと認めなければ、お金を貸したという事実の証明は、貸した人が証拠を示して証明しなければなりません。つまり貸した方に立証責任があるのです。よって「金銭貸借」は、その時、その場に立ち会った第三者などの有力な証人や、しっかりとした証拠がない限りは、間違いなく返済されるかどうかはわかりません。

それは借りた人が嘘をついたり、または年月が経って重病人になったり、死亡すれば、相続人では事情がわからないこともあるでしょう。結局、金銭貸借の「貸した」「借りてない」の争いは、最終的には裁判にならざるを得ませんが、貸主の方がお金を渡したことが及びそれを返してもらう約束をしたことを立証するには、借書、あるいは契約書があれば割と容易なのですが、それがなければ非常に難しいことなのです。ましてや、お金を貸していた友人が死亡した場合などは、原則としては、相続人が死亡した人の債務をも引き継ぎますから、相続人に対して返済請求をすることは可能です。

しかしこれは相続人が死亡した人の「相続放棄」や「限定承認」の手続きなどを取らない場合のことで、この手続きをとると、その相続人は初めから相続人にはならなかったとみなされますから、その人に対しても返済請求はできなくなります。ただし、相続放棄などには法律上の期限があります。それは相続開始を知ったときから、3か月以内に、家庭裁判所において行うことになっていきますから、こちらも自分の立場をしっかりと自覚しておくことも必要です。

(元非常勤国家公務員)

老友歌壇

自由題

日向 海砂選

メジロらよこぞりておいで啄みに爆ぜしマユミの
つやつやの実を (阿南) 井坂 稔
〔評〕初夏に淡緑色だった、まゆみの実が紅い種子となり、冬には、メジロ達の格好の餌となつて
いるのですね。「こぞりておいで」がよく効いて
います。

街路樹の手足伸ばせぬ銀杏の木 寺社の大樹を知
るよしもしなし (鳴門) 中川百合子

野牡丹の一輪残る大鉢に身体押しつけねむる老猫
(北島) 松浦 勝江

コロナ退き久に地蔵まつりの秋なびき餅福なげに
老若男女きそう (三好) 小西 樂恵

紅葉最中赤や黄の自然に埋れたい足不自由でもテ
レビ見てうれし (石井) 近藤 安子

秋深く落葉を踏んで山路ゆく穂栗拾い手の痛さか
な (阿南) 吉本 文男

今日も又叶わぬ夢の夢を追う「病む身は定め負け
たりしない」 (東みよし) 手塚都樹子

その日来るまでも震災思い出し避難訓練ご近所様
と (鳴門) 辻 加米一

父母もなきふる里の墓に立ちこれが最後と青空あ
おぐ (海陽) 中張 瑛子

便り来て気持察する自分にも同じ思いと月を眺む
る (鳴門) 野口 絹代

流れ行く雲見つめれば過ぎし日に友と語りし浜辺
懐かし (美波) 蛇目 行二

伝統を繋ぐ総出の村祭り帰郷の人も加わりており
伝 (阿南) 繁木 良子

「帰ったよ」返事なき部屋の灯りつけ今日一日を
遺影に告ぐる (勝浦) 溝内喜美代

米寿きて残の生命をいかにせんこの世の使命まだ
多かりき (板野) 坂東 泰子

上出来のさやいんげんをかごに入れ足軽やかに隣
り近所へ (三好) 谷口 宮子

吉野川のぼりてゆかば童学寺 書を書く子らの声
の聞こゆる (海砂)

老友俳壇

当季雑詠

西本 潤選

老いの身に木枯じんと沁みにけり (東みよし) 手塚都樹子
〔評〕木枯は初冬に吹く強い風。木枯のあまりの
激しさに、身をすくめ息をつめた一瞬の、つぶや
くような実感の籠った作品。中七にある「じん
と」が効いている。

晩秋や淋しさそつと近寄り来
干柿の香り漂よう軒端かな (鳴門) 高田 治美

田の畦のくぼみ瓜坊見えかくれ (阿南) 吉本 文男

一位の実甘し遠嶺のちぎれ雲 (海陽) 中張 瑛子

よく耐えし路地の小菊に命知る (徳島) 四宮 富子

黄落や戻れぬ八十路振り返る (美馬) 藤村 昌子

銀杏散る神社も庭も黄に染めて (阿南) 東條 明宏

黒雲の低くたちこめ冬に入る (三好) 山下 明俊

一声の鶯の滑空冬うらら (北島) 松浦 勝江

畑仕事の丸き背中に初しぐれ (北島) 高橋 孝夫

初雪や児らの歓声校庭に (上勝) 平井 弘子

友の計にねむれぬままや小夜時雨 (鳴門) 辻 加米一

猫の鈴小刻みに鳴る夕時雨 (那賀) 岡内 貞夫

バスを待つ人風の吹きぬける (阿南) 繁木 良子

冬の庭凜と王者の五葉松 (石井) 近藤 安子

山里の色変わりゆく冬景色 (阿南) 中西 純枝

友逝きて遺影に語る冬座敷 (海陽) 森口 豊子

焚火して漁港の朝の生き生きと (佐河内) 丸野ユキエ

手車に買物あふる小六月 (松茂) 齋藤 和子

軒先に吊し柿揺れ鳥の声 (上板) 牧野マサミ

またの世も親子にならん返り花 (三好) 女鹿 英子

寝正月ポチに起こされ散歩する (小松島) 江川 啓子

秋陰や手の跡しるき血天井 (松茂) 田中 耕二

老友柳壇

自由題

和田健史選

無い知恵を絞り今日の日過ぎて行く (阿南) 野村 敏子
〔評〕高齢の自分を励ましなが、毎日を精一杯
生きている姿がみえる。次々と難儀なことが出て
くるが、無い知恵を搾りながらも乗り越えるし
かない。豊かな人生経験で、知恵はまだある。
収めたがストレスたまり胃が痛い

スマホより団塊世代文通だ (徳島) 平井カネミ

元氣だよだれか聞いてよ大きくしゃみ (石井) 宮内 信一

年新た卒寿迎えて策を練る (海陽) 森口 豊子

晩秋の蚊の一匹に眠られぬ (徳島) 吉田 聖子

うり坊よ大きくならずそのままで (鳴門) 笠井 千恵

高齢者気の持ちようで若く見え (海陽) 中張 瑛子

お疲れさん炬燵にバトン扇風機 (阿南) 吉本 文男

節くれになって苦勞に耐えた手よ (鳴門) 中川百合子

幸せのスイッチ入れる友がいる (美馬) 藤村 昌子

すんなりと水に流せぬ老いの身よ (上勝) 平井 弘子

ペットにも避難訓練習慣化 (北島) 松浦 勝江

首すぼめ寒風のなか小走りに (鳴門) 辻 加米一

我が夫仕事一途の人だった (東みよし) 手塚都樹子

悪い子に悪いと言わぬ悪い親 (三好) 谷口 宮子

久しぶり予防接種も憩いの場 (阿南) 東條 明宏

若蔵に受けた論破の傷深し (那賀) 西 英子

正月や池のメダカにお目出とう (那賀) 岡内 貞夫

偶数月この日は重いエコバッグ (松茂) 田中 耕二

団塊という老兵が邪魔ですか (松茂) 齋藤 和子